

やさしさ

子ども獅子舞は川戸の宝

川戸岩田神社の子ども獅子舞

「ぶすいっ、ぶすいっ」よい、よい」子どもの元気な声が響きます。10月12日川戸岩田神社の秋祭りでは、奉納獅子舞がおこなわれ、子どもたちだけで舞う「子ども獅子舞」も披露されます。

獅子舞を披露する子どもたちは、川戸自治会の小学4年生から6年生の21人。夏休みの終わりから15回、毎週練習してきました。

子ども獅子舞がはじまったのは6年前。今では、伝統文化活性化国民協会の補助を受け、川戸自治会の大人から子どもに受け継がれる伝統としてすっかり根づいています。

自治会長の竹添和彦さんは、

「維持していくのはたいへんやけど『継続は力なり』でこれからも川戸の宝として継承していきたい。」といわれます。



男子が舞を女子が太鼓と笛を担当します。

(山崎支部 阿曾秀樹)

時代を反映して、塾通いの子どもが増え、練習に全員が顔をそろえるのも難しくなってきました。川戸自治会では、獅子舞を通じて世代間の交流をはかり、地域のコミュニケーションづくりに力を発揮しています。

「獅子舞を通じて子どもたちが川戸を愛する人になってほしい」とは、保存会会長の雲田章彦さんの思い。

川戸獅子舞保存会メンバー

の指導に、子どもたちは真剣な眼差しで取り組んでいます。

いのちのみや

ふるさとまつりでバザー

福祉活動の大切な財源確保のために



バザーの品物は、社協の役員・職員が、未使用の品物を持ち寄りました

11月3日(祝)、スポーツパーク一宮グラウンドにおいて、第31回いちのみやふるさとまつりが開催され、社協は「ふくしミニバザー」でおまつりに参加しました。

当日は天候に恵まれ、たくさんの方にお越しいただき、おかげさまでバザーの収益金は、八万三千七百九十円でした。

この収益金は、今年度の社協事業費の貴重な財源として



会場を盛り上げた「小学生地区対抗相撲大会」

当日の会場において、チャリティー活動がされた団体から収益金をいただきました。あたたかいお気持ちに心より感謝いたします。

(敬称略・順不同)

- 揖保乃糸素麺組合一宮支部 20,000円
- 三嵯中野菜バザー 23,030円
- ひろちゃんのボン菓子 3,000円
- つちのこ美術館 3,466円

(この収益金は善意銀行で預かり、地域の福祉を高めるために活用します)

有効に活用させていただきます。(一宮支部 波多野好則)

一収益金一
「83,790円」